

ライバルチームを徹底分析!

福岡大学

(九州・1位)

2季連続で九州リーグを制覇した九州の雄。昨季は総理大臣杯で優勝し、夏の王者を勝ち取った。しかし、冬のインカレでは決勝戦でエースFW永井謙祐を欠



↑驚異のスピードを誇るFW永井。彼を封じなければ勝ちは無。

き、準優勝に終わっている。それだけに、今年こそはの思いが強いことだろう。2年生ながらチームをまとめるDF牟田雄祐、全日本大学選抜にも選出されているFW石津大介、今年はセレッソ大阪で活躍した清武の実弟、MF清武功暉など全国でも屈指のタレントを有している。昨冬のインカレでは、準決勝で駒大と対戦し、2-1で勝利。駒大からすれば因縁の相手だ。当たるとすれば決勝だけに、対戦すれば熱戦は必至だ。

明治大学

(関東・1位)

いわずと知れた関東覇者。今季の関東リーグでは、強豪ひしめく関東でも群を抜く圧倒的な完成度の高さで首位を独走。後期には主将の山田大記、小林裕紀ら主力が怪我で長期離脱を余儀なくされたが、分厚い選手層で乗り切り、3節以降は一度も首位の座を明け渡さなかった。ジェフユナイテッド千葉への来季加入が



↑最終戦では2点を奪ったFW久保。要注意人物の1人だ。

決まっているFW久保裕一やJクラブも注目するCB丸山祐市、らまさに“最強”の名にふさわしいチームといえる。後期最終戦では駒大が敗れているため、是非とも雪辱したいところ。順当にいけば、準決勝での対戦となる。

阪南大学

(関西・1位)

2位以下を勝ち点差14と大きく突き放し、リーグ制覇を達成した関西の“虎”。22試合で72得点という驚異的な数字を叩き出し、相手を全く寄せ付けなかった。4年生エースのFW棚橋雄介が19ゴール、テクニックが持ち味のMF井上翔太が15ゴールと2人でその半分以上の34点を挙げており、そのほかFW中村雄大、FW泉澤仁が7ゴールを記録。強烈な個を前面に押し出した、超攻撃型サッカーを展開してくることが予想される。駒大と対戦する可能性がある2回戦に進むためには、まずは中京大学を倒す必要がある。超攻撃的サッカーを展開する阪南大学が、超守備的サッカーを展開する中京大学のゴールを破れるかに注目が集まる。

中京大学

(東海・2位)

今夏の総理大臣杯で準優勝に輝いた東海地区の要塞。大臣杯決勝では駒大と対戦しており、ここでは延長戦の末に3-2で駒大に軍配が上がった。リーグ戦では浜松大学の後塵を拝したものの、インカレ出場圏の2位はなんとか確保した。リーグ戦では調子が出なかったものの、勝負強さは健在で、主将で来季横浜FCへの加入が決まったDF森本良や元プロ選手のDF中田智久らを中心とした堅守が持ち味。トーナメントでの強さも大臣杯で証明されており、今度こそ日本一の座を奪いにいく。順当に勝ち上がれば、2回戦で駒大との“決勝戦”が再現される。